

日本共産党 辰巳孝太郎 参院議員が 森友改ざんを追及

首相答弁 改ざんに影響 理財局長否定せず



質問する辰巳孝太郎議員（3月16日、参院予算委）

日本共産党の辰巳孝太郎参院議員は3月16日の参院予算委で森友公文書改ざん問題を質問。「安倍晋三首相の国会答弁との整合性を取るために改ざんされたのではないか」と追及しました。財務省の太田理財局長は「総理あるいは大臣答弁もあるので、政府全体の答弁は気にしていた」と述べ、首相答弁の影響を否定しませんでした。麻生財務相は「改ざんは佐川答弁と合わせるため」としていましたが、改ざんの出発点は、昨年2月17日の首相進退答弁だったことが否定できなくなりました。

「昭恵氏隠し」の改ざん

辰巳議員は、国有地貸し付けの「特例承認」に関する決裁文書に、安倍昭恵氏に関する記述がみられることを指摘。「特例承認」に触れた貸付決裁文書は総選挙後の11月まで国会に提出されなかった事実を示し、「財務省は隠し続けた」と追及。「安倍昭恵氏につながる文書の存在、痕跡を消すために改ざんを行ったことがますますはっきりした」と強調し、改ざん当時の理財局長だった佐川宣寿前国税庁長官と昭恵氏の証人喚問を求めました。



街頭で訴える（左から）すやま初美参院愛知選挙区予定候補、もとむら伸子衆院議員（3月10日名古屋栄）

真相究明を通じて 内閣総辞職に追い込みます

野党の結束と国民の運動が 安倍政権を追い詰めています

国会論戦

「朝日」が決裁文書改ざんを報道し、日本共産党の小池晃書記局長が真っ先に追及。「調査する」と答弁させました。



質問する小池晃書記局長（3月2日）

6野党結束

日本共産党、立憲民主党、民進党、希望の党、自由党、社民党の6野党は一貫して結束。自民党に集中審議と佐川氏の喚問という真相解明の第一歩を受け入れさせました。



森友公文書改ざん疑惑解明に向けて決意を固めあう野党議員（3月8日）

市民が連日抗議

全国でも愛知でも市民が連日「安倍内閣総辞職」「真相究明」を求めて抗議行動を行っています。



徹底解明、安倍内閣総辞職を求めてコールする人たち（3月16日、首相官邸前）